

NEWS RELEASE

2007年5月31日
コマツ産機株式会社
TEL：03-5561-2692

<http://www.komatsusanki.co.jp>

<二軸独立駆動により高精度・高生産性を実現>

コマツ産機、二軸独立駆動型ACサーボプレスを発売

コマツ産機株式会社（社長：山田浩二）は、二軸独立駆動方式を採用した新型ACサーボプレス、「ACサーボプレス H2W」をこのたび発売しました。

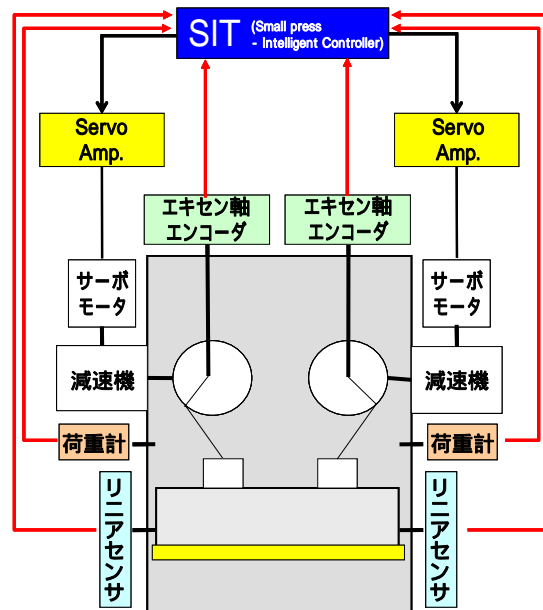
「H2W」は、2002年に発売し累計約1600台を販売した、サーボプレスH1FおよびH2Fシリーズのコンセプトを受け継ぐとともに、新開発の駆動機構を採用したサーボプレスです。

フリーモーション機能による成形性の向上や、下死点自動制御機能による高い下死点精度など従来機の特長はそのままに、新開発の駆動機構による**二軸独立駆動方式**を採用、スライドの平行度を高精度に維持する機能を持つのが特長で、精密順送加工やトランスファ加工などに威力を発揮します。また、**フレーム構造**には、ストレートサイドプレスのベストセラー機E2Wと同等のものを採用、高い剛性と使いやすさを両立しました。

【写真は、新開発の「H2W200」】



(図1) H2W200外観



(図2) H2W構成図

(左右独立した駆動系・制御系を採用)

「H2W」の主な特徴は以下のとおりです。

1. 高精度

スライドの位置を測定するリニアセンサを左右に配置し、スライドの高さおよび平行度を自動的に補正する、「**下死点自動制御・平行度自動制御機能**」を標準装備しました。さらに、加工荷重の変動を検知しスライド高さを補正する「**荷重補正機能**」をオプションで準備しています。これらのコマツ独自の機能により、高い成形精度を実現するとともに、不良品の削減、金型寿命の向上などをはかることができます。

2. 高生産性

通常の運転方式のほか、ストローク長さを短くし高速運転をおこなう「**振子モーション**」にも対応、成形高さにあわせ最適な生産性を実現でき、従来機（E2W）に比べ最大40%の高速化を実現しました。また高速順送用途向けには、高速タイプ（H仕様）も用意しております。

3. 高成形性

ACサーボモータによるダイレクト駆動により、スライドの動きを自由に設定できる、**フリーモーション**を実現。成形内容に最適なモーションを設定でき、成形性・加工精度・汎用性が向上しました。

【主な仕様】

項目	機種 仕様	H2W200		H2W300	
		S	H	S	H
加圧能力	kN	2,000		3,000	
ストローク長さ	mm	250	150	350	170
ストローク数（回転）	min ⁻¹	~ 50	~ 85	~ 30	~ 65
ストローク数（振子）	min ⁻¹	~ 70 (ストローク 110mm)	-	~ 49 (ストローク 150mm)	-
ダイハイト	mm	500		600	
スライド調節量	mm	120		200	
スライド寸法	mm	1850 × 650		2100 × 900	
ボルスタ寸法	mm	2150 × 850 × 180		2400 × 1200 × 200	
メインモータ	kW	52 × 2 基	60kW × 2 基	60kW × 2 基	

【発売日】 2007年5月31日

【公表価格】 H2W200-S 4450万円（本体価）

【販売目標】 初年度 100台/年（4機種計）

【お問い合わせ先】

コマツ産機（株）鍛圧KBU企画グループ

TEL：03-5561-2692

FAX：03-5561-2877

インターネットアドレス <http://www.komatsusanki.co.jp/>

以上